

この度はサージカウンタをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用に際しては、本書をよく読んでお取り扱いいただきますようお願い致します。

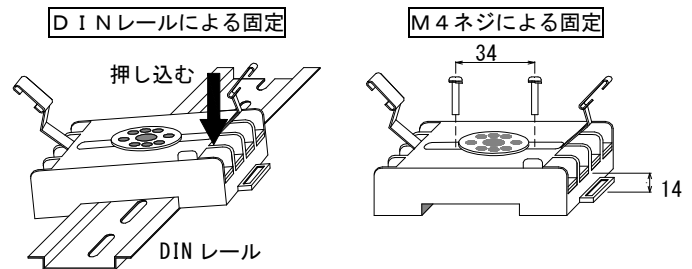
1. 注意事項

- ・最大測定電流は 50kA(8/20 μ s および 10/350 μ s)です。
- ・屋内専用です。屋外など、水のかかる場所での使用は避けてください。
- ・衝撃を加えないでください。故障または破損する恐れがあります。

2. 接続

(1) 端子台の固定

- ①カウンタ本体の両サイドの固定部分はずし、端子台から本体を外してください。
- ②端子台を DIN レールまたは、M4 ネジで固定してください。

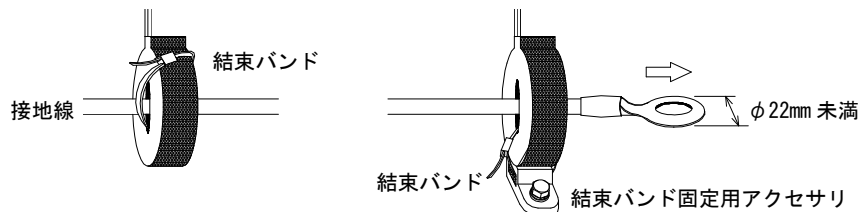
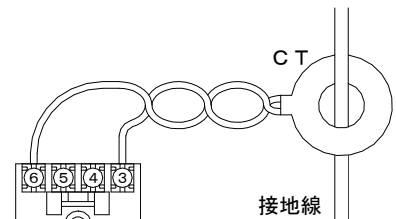


(2) CT 取付け

⚠ 配線時の注意

- ・CT は電源線など他の配線と束ねて配線せず、できる限り開閉サージやノイズなどの誘導を受けないように隔離して配線してください。
- ・CT のリード線 (300mm) はノイズ防止対策として約 1cm 間隔で擦り合せてください。
- ・CT のリード線は延長しないでください。

- ①CT を端子台③-⑥端子に接続してください。
(端子ネジは M3.5 で推奨締付けトルクは 0.8~1.3N・m です)
- ②サージ電流を測定する接地線をできるだけ直線状にし、CT に貫通させてください。(極性はありません)
- ③CT は結束バンド等で固定してください。盤に固定する場合は結束バンド固定用アクセサリ等を使用してください。
(結束バンドや結束バンド固定用のアクセサリは製品に付属していません)
- ④接地線の圧着端子幅が 22mm 未満であれば、圧着端子を外すことなく、CT に通すことができます。



(3) 本体部の取付

配線が終わりましたら本体を端子台に差し込み、カウンタ部両サイドの固定部をはめ込んでください。

3. 取扱い

(1) 動作

- ①CT に 100A 以上【最大 50kA (8/20 μ s または 10/350 μ s)】の電流が流れるとカウント表示が 1 つ上昇します。
- ②連続動作間隔は約 1 秒です。
- ③カウント表示が 99 回を超えると、再び 00 回からカウントします。

(2) カウントリセット

- ①端子台の①-②端子に DC9V を加えるとカウント表示が 1 つ上昇します。
9V 乾電池などをご使用ください。【極性に注意 ①: +9V ②: 0V】
- ②くり返し DC9V を加えると、カウント表示を 00 に復帰させることができます。
周囲設備の充電部等に触れないよう、十分に注意して行ってください。
- ③RLP-9V (オプション) を使用すると作業がしやすくなります。
【リード棒の先端を短絡させないように注意してください】
【使用後は乾電池を取り外してください】

